



# 新潟県ソウル事務所発



## 韓国レポート

2018.12.6

### <第9回レポート>

#### 全州国際発酵食品エキスポ 2018 に新潟県ブースを出展、県産品の販路拡大を支援！

10月25日から29日まで韓国南西部にある全羅북도全州市で開催された「全州国際発酵食品エキスポ 2018」に、新潟県ソウル事務所では県産品の販路拡大を支援するためブースを出展しました。

今年で16回目を迎えるイベントは、21か国360企業が参加し、各国の発酵食品を中心とする食品展示や国内外のバイヤーとの商談会、発酵産業の国際的な動向に関する学術会議などが行われ、期間中15万2千人の方が来場されるなど大規模なグローバルイベントとして定着しています。

新潟県ブースでは、県内企業5社から各社自慢の味噌や醤油、納豆、豆腐、酒粕を使ったジェラードなど様々な発酵食品を出品し、多くの来場者に商品説明を通じて売込みを行ったところです。

韓国でも、味噌、納豆、豆腐などの発酵食品は料理に使用される身近な食材ですが、日本のものとは異なり、大豆の粒を粗めに潰した味噌(テンジャン)や、「清麴醬(チョングッチャン)」と呼ばれる糸を引くほど粘り気のある納豆は、ともに独特のにおいがありチゲなどのスープ料理に使われます。

来場者からは、健康志向が強い韓国人は体によいものは受け入れるという声があり、新潟県産の納豆は一粒一粒の形が食べやすくにおいもきつくないこと、味噌も豆腐を入れた味噌汁の提供では韓国味噌よりもくせがなく飲みやすいと評判が良いことから、韓国製品にはない特徴を生かしてビジネス展開につながればと期待したいところです。

味噌や納豆だけでなく、日本酒を楽しむ製品や酒粕を使ったデザートなど韓国にはない珍しさから、来場したバイヤーからは高い評価をいただき、中には商談を進めている製品もあります。

今後も質の高い県産品を様々な機会を通じて積極的に売り込むことで、県産品の販路拡大につなげてまいりたいと思います。

